

円山公民館を拠点に行っている家庭教育関連の事業を紹介します。
地区民の皆さまの積極的な参加をお待ちしています。



家庭教育支援チーム

家庭の教育力アップにつなげようと、文部科学省の「地域における家庭教育支援基盤形成事業」の一環として平成 20 年度より 3 年間のモデル事業としてスタート。

全国約 280 の小学校区、県内では独自に活動を行っている、あわら・大野・勝山・鯖江を除く 13 市町に支援チームを創設。来年度以降は 17 市町すべてに配置される予定。

支援チームは、地域に通じた子育て・家庭教育に関わる方々で結成され、地区公民館で子育て相談会を開いたり、小学校などに出向いて出前講座を開いたりして、地域の家庭教育推進・子育て支援に関する活動を展開していく。

福井市では、円山・啓蒙・社南の 3 地区がモデル地域として指定され、支援チームが設置された。平成 20 年 9 月より活動を始めている。

円山地区では、保育士・看護師・教員・栄養士などの有資格者と、民生児童委員・子育てサポーター・母子福祉委員・PTA や子ども会関係者など、地区内で家庭教育・子育て支援に関わりの深い 13 名で支援チームを結成し活動している。

円山公民館家庭教育学級(まんまるち)

円山公民館の教育事業の一つ。

家庭教育とは、親やこれに準ずる人が子どもに対して行う教育のことで、より多くの方に親しみ学んでもらおうと、愛称を[まんまるち]とした。ちなみに、[まんまるち]の名前の由来は『まんまるでフワフワ、マルチで視野の広いやさしい心を持ったお母さん』を目指そうというもので、平成 7 年度より活動を始め現在に至る。

例年約 10 名の運営委員で年間計画を立て、主に保育園・小学校の保護者を対象とした講演や勉強会を年間 5～6 回行っている。近年では円山小 P T A や円山地区各種団体と連携したものも増えてきている。

円山母親クラブ

母親クラブは、家庭における児童の健全育成、地域の児童福祉の向上に役立つ活動を目的とした児童を持つ親を中心とした連帯組織で、元々は円山保育園内に拠点を置いていたが、平成 19 年度より円山公民館へ移し活動している。

円山母親クラブの運営は、会長以下 6 名の役員で行っている。現在会員は 30 名で、年度最初に年会費が必要。クラブの事業の中には会員のみのもので、誰でも参加できるものがあり、親子・世代間の交流・文化活動、児童養育に関する研修活動、児童の事故防止活動などが主な事業である。

円山では公民館でのふれあい文庫や、地区内の公園点検、コミュニティスクールへの支援をはじめ、パソコン教室や落語・人形劇などの文化観賞を行っている。



家庭教育だより

第2号
平成21年2月5日発行

就学前座談会が開かれました

共催 家庭教育学級まんまるち
円山母親クラブ

一月十七日、円山公民館において、平成二十一年度円山小学校新一年生の保護者対象の座談会が行われました。十六名の方が参加され、入学までの準備や入学後の学校生活に対しての質疑応答、意見交換が行われました。



円山小学校より現在一年担任の美濃部先生、どんぐり児童館より吉川厚生員、主任児童委員の中井さんを迎えました。また、主催団体の各委員さんも円山小PTAの先輩ママということでも、細かい質問などにも対応できる体制を整えました。

最初にDVDで一年生の六月ごろの様子を紹介し、入学後の子どもたちがどのように学校で過ごしているかを見ていただきました。参加された方のほとんどは初めてのお子さまの入学で、興味深く見ていたようです。

次に自己紹介を兼ねて一人一つずつ質問を受け付け、その都度、先生にお答えいただきました。

途中の休憩タイムでは、在

入学への疑問・不安 一気に解決!



の質問や説明、家庭での心構えなどのお話がありました。PTAや子ども会、コミュニティスクールの話など、小学校ならではの話に参加者はうなずきながらメモを取り、熱心に耳を傾けていました。閉会後もまだまだ話が尽きず、この機会にと個別に質問する方もいたようです。

在校生が使っている学用品や制服などの展示コーナーにほとんどの方が集まり話をしていました。実際に手にとって使い方のアドバイスを受けた写真撮影したりしながら、委員から学用品を揃える時期やお買い得情報などの口コミの情報も聞いていました。

休憩後は、児童館について

今年で5年目になった就学前座談会。「とても参考になった」「円山は家庭教育の活動が盛んでうれしい」「お姉ちゃんがいるけど、次は男の子なのでわからないことがあって来てみた。今日来てよかった。」「引越をしたばかりで入学にも不安があったけれど解消された」との感想もいただきました。ありがとうございました。



展示コーナー



1年生の教室の様子を写真で、また円山小学校の児童が、現在使用しているものを展示。
(ランドセル・制服・体操服・袋物・ズック・文房具など)
使い方や選び方など、委員さんが自分たち(子どもたち)の経験を元にアドバイス。
特に袋物への関心が高く、大きさやひもの長さ、登下校時のランドセルとの組み合わせの工夫に「へえ〜」「そうなんだ〜」との声が続く。



1年生の6月ごろの様子を映像にて紹介。「お友達と仲良くできるかな?」「授業中、じっと座って聞いているかしら?」「給食ちゃんと食べられるかな?」と自分の子どもの今後を想像しながら見ていました。



DVD上映

